

海自幹部の靖国参拝認める

165人、官用バスで九段下へ

昨年5月に海上自衛隊の艦隊司令官・今野泰樹海将

幹部ら165人が制服姿で補はじめ、一般幹部候補生

靖国神社(東京都千代田課程を修了した初級幹部ら

区)を集団参拝していた問165人が「航海に先立ち

題(本紙17日付既報)で防正式参拝した」とする記事

衛省は19日、本紙の取材にが靖国神社の社報「靖国」

参拝したことを認めまし由意思により靖国神社を参

た。(取材班)の昨年7月号に出ていたと答えました。

本紙は、昨年5月に練習衛省は本紙に対し「歴史学

習のため(東京都千代田区省は「練習艦隊が停泊して

の)九段下周辺にある史跡いた晴海ふ頭から九段下ま

等を巡る研修を実施しましでは官用バスにて移動、そ

た。この際、当該研修の休の後、史跡等の間は徒歩で

移動しました」と説明しま靖国神社を巡っては今年

1月に陸上自衛隊の小林弘樹陸上幕僚副長ら幹部が公

用車で集団参拝し、防衛省から訓戒処分を受けていま

服装で官用バスを使用して

いますが、防衛省は「歴史

学習のため九段下周辺にあ

る史跡等を巡る研修」とし

て、宗教施設への部隊参拝

を禁じた事務次官通達(1

974年)違反を恐れよう

としたものと考えられま

す。

「九段下周辺」には、遊

就館といった靖国神社境内

にある施設や展示がありま

す。遊就館の展示は、第2

次世界大戦を「大東亜戦

争」と呼び、侵略戦争を美

化するもので、仮に同展示

の見学が行われていたなら

ば、軍国主義の精神的支柱

だった靖国神社の参拝とあ

わせて、旧日本軍への回帰

を懸念させます。

海自幹部らの参拝では制